

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 肺傷害のリスクを可視化する Lung stress mapping 法の確立と臨床応用への挑戦
2. 研究代表者： 吉田 健史（大阪大学 大学院医学系研究科 特任講師）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本研究課題は、肺生理学と画像解析学との融合によるアプローチで肺傷害リスクを可視化する Lung stress mapping 法の確立に挑み、さらに人工知能を用いて、先進的個別化肺保護換気戦略を可能とすることを目指すものである。臨床上重要な課題であり、オリジナリティのある仮説のもと、フェーズ1では、肺傷害リスクの予測や炎症との相関性を見出すなど、優れた研究成果を挙げている。フェーズ2では、適切かつ野心的に計画が立てられており、社会実装に向けた成果を大きく期待する。

以上